

保護者のコミュニケーションを支援することで防犯体制の構築に繋げることなどを計画し、実行して来ました。

『登下校管理システム』は、学校や児童館に設置してあるカードリーダーに、児童が持っているICカードをかざすと、カードの情報を取りあらかじめ登録している保護者のメールアドレスへ登校・下校を配信します。利用者からは「登校時の事件・事故が増えているので、確実に学校に到着できたことが分かる」と安心します」や「下校時間が分かるので子どもの出迎えに便利で助かります」など数多くの支持を受け、成果を上げてきました。

『保護者連絡網システム』は、従来電話で行っていた連絡をメールで一斉配信することで、学校と保護者のコミュニケーションを飛躍的に円滑にしました。保護者側の負担の軽減と、教員側の業務削減

効果があります。必要に応じたグループに対しメール配信が行える仕様や、アンケートの実施・集計を行える仕様が支持をいただいているそうです。

このように、情報通信技術の持つ特性を最大限に活用することで、効果的に地域社会全体の防犯体制を強化し、安心して子どもを生み育てられる環境を構築してまいりました。



四国中央市庁舎前にて

香南市では、「美しい水と緑と風に包まれ、元気で豊かなに光るまち」の形成を目標に、今後進めるべき施策方針を総合的に取りまとめた「香南市振興計画」が策定されています。

この振興計画に示されたまちづくり分野の施策を具体的に且つ積極的に推進する実践計画として、「香南市まちづくりグランドデザイン」を位置づけ、市民と行政が共に協働で行うまちづくりの目指すべき基本方針の策定に取り組んでいます。

近い将来必ず来るといわれている南海トラフ巨大地震、太平洋に大きく面している香南市は10メートル以上の津波被害に襲われると予想されており、抜本的な地震津波防災対策が急がれています。

また、高知市・南国市のベッドタウンであり、15歳未満の人口比率が県内第1位、「にら」の生産量日本一などの特

徴や、市民の意見である働き場所が少ないことへの不満、地震や火災・洪水などの災害対策への取り組みを最も大事と考えているなど特性と問題点を整理・検討し、20年後の将来都市像の実現を目指し邁進してまいりました。



香南市議会議場にて

台風接近により暴風雨の中
 の視察となりましたが、実
 ある視察研修となりましたこ
 とをご報告いたします。